

2. 地区の災害特性及び防災対策の方向性の補足（谷津小学校区：奏の杜地区除く）

1) 地区内の人口状況：平成 25 年との比較

◆市総人口：161,047 人/H25 年 ⇒ 175,065 人/R5 年 【14,018 人増】

	H25 年 3 月		R5 年 3 月		備考
地区全体	13,548 人	⇒	10,952 人	★2,596 人の減少	
0 歳～ 9 歳	2,164 人	16.0%	1,248 人	11.4%	857 人
10 歳～14 歳					391 人
15 歳～19 歳					506 人
20 歳～29 歳					1,713 人
30 歳～59 歳					4,714 人
60 歳～64 歳	9,378 人	69.2%	7,527 人	68.7%	594 人
65 歳～69 歳					447 人
70 歳～79 歳					967 人
80 歳以上					763 人
	2,006 人	14.8%	2,177 人	19.9%	967 人
					763 人

●奏の杜地区の新設により、全体としての人口は減少、65 歳以上の人口は増加

●65 歳以上の人口数対生産年齢人口数比 ★1 人対 3.5 人

2) 丁目ごとの標高

◆谷津

丁目	最高	場 所	最低	場 所	高低差
1 丁目	16.3m	16 番 JR 津田沼駅南口	5.0m	22 番 7 号付近の道路	11.3m
5 丁目	18.5m	10 番 26 号付近の道路	4.7m	30 番 7 号 5 号踏切	13.8m
6 丁目	19.7m	16 番 10 号付近の道路	8.2m	7 番 12 号付近の道路	11.5m
7 丁目	16.8m	4 番 18 号付近の道路	10.2m	13 番 24 号付近の道路	6.6m

◆奏の杜：参考として記載

丁目	最高	場 所	最低	場 所	高低差
1 丁目	16.7m	3 番 21 号付近の道路	9.3m	14 番 16 号付近の道路	7.4m
2 丁目	15.7m	12 番谷津奏の杜公園	9.1m	2 番 4 号付近の道路	6.6m
3 丁目	14.8m	1 番 6 号付近の道路	10.0m	14 番 9 号付近の道路	4.8m

※国土地理院地図データから職員が手作業により、検索しているため、多少のズレ有

3) 丁目ごとの災害特性：全壊・半壊棟数＝千葉県北西部直下地震想定時

丁 目	揺れ		液状化	河川氾濫	内水氾濫	高潮	土砂災害
	全壊	半壊	全半壊	氾 濫	氾 濫	浸 水	災 害
谷津 1 丁目	27 棟	72 棟	0 棟	なし	10 棟	104 棟	なし
谷津 5 丁目	30 棟	148 棟	0 棟	なし	0 棟	22 棟	なし
谷津 6 丁目	4 棟	19 棟	0 棟	なし	18 棟	なし	なし
谷津 7 丁目	5 棟	13 棟	0 棟	なし	9 棟	なし	なし

4) 住民の視点から見た地区の災害特性：H25 年ワークショップ

連番	区 分	意見等内容
1	防災体制	◆町会・自治会の規模が大きく統率の取れた対応が困難であり、また他地区から来た人への指示や指揮をする人がいない。
2	内水はん濫	◆津田沼パークハウス付近は整地を行った影響により、内水はん濫の危険性が高い。
3	避難経路	◆谷津 5 丁目は家が密集しており、道が狭く、急カーブや坂が多いため、緊急車両の通行や避難ルートの確保が難しい。
4	帰宅困難者	◆谷津 6 丁目は J R 津田沼駅が近くにあることから、帰宅困難者も含めた住民の避難の受け入れに不安がある。
5	地域の連携	◆一戸建てと集合住宅が混在し、地域の相互扶助意識が薄れ、住民同士の関係がとれるかが不安である。

5) 住民の視点から見た防災対策の方向性：H25 年ワークショップ

連番	区 分	意見等内容
1	防災体制	◆町内会や自主防災組織など各組織間の連携を強化し、災害時の地域の活動における指揮・指示系統を確立・強化する。 ◆谷津 6 丁目では「防災連絡協議会」を立ち上げ、役割を設けて防災対策にあたっており、このような災害時の対応体制の整備を進めることが重要である。
2	避難所・避難場所確保	◆今後新しくできる大型の公園の利用など、現在指定されている避難場所以外の避難場所の確保を検討する。
3	要配慮者対策	◆災害時における要配慮者の把握を試みたが、個人情報の問題もあって十分にできていないため、行政と連携して対応できる仕組みを検討する。
4	物資・資機材の備蓄	◆「市の備蓄」と「町会の備蓄」をお互い情報共有し、連携して進めていく。

3. 地区の災害特性及び防災対策の方向性の補足（奏の杜地区）

1) 地区内の人口状況

◆市総人口：161.047 人/H25 年 ⇒ 175.065 人/R5 年 【14.018 人増】

	H25 年 3 月	R5 年 3 月			備考
地区全体		8,306 人			
0 歳～ 9 歳		2,210 人	26.6%	1,701 人	●平成 25 年奏の杜地区を新設 ●65 歳以上の人口数 対生産年齢人口数比 ★1 人対 10.4 人
10 歳～14 歳				509 人	
15 歳～19 歳				235 人	
20 歳～29 歳		5,559 人	66.9%	543 人	
30 歳～59 歳				4,542 人	
60 歳～64 歳				239 人	
65 歳～69 歳				148 人	
70 歳～79 歳		537 人	6.5%	265 人	
80 歳以上				124 人	

2) 丁目ごとの標高

◆奏の杜

丁目	最高	場 所	最低	場 所	高低差
1 丁目	16.7m	3 番 21 号付近の道路	9.3m	14 番 16 号付近の道路	7.4m
2 丁目	15.7m	12 番谷津奏の杜公園	9.1m	2 番 4 号付近の道路	6.6m
3 丁目	14.8m	1 番 6 号付近の道路	10.0m	14 番 9 号付近の道路	4.8m

※国土地理院地図データから職員が手作業により、検索しているため、多少のズレ有

◆谷津：参考として記載

丁目	最高	場 所	最低	場 所	高低差
1 丁目	16.3m	16 番 JR 津田沼駅南口	5.0m	22 番 7 号付近の道路	11.3m
5 丁目	18.5m	10 番 26 号付近の道路	4.7m	30 番 7 号 5 号踏切	13.8m
6 丁目	19.7m	16 番 10 号才付近の道路	8.2m	7 番 12 号付近の道路	11.5m
7 丁目	16.8m	4 番 18 号付近の道路	10.2m	13 番 24 号付近の道路	6.6m

3) 丁目ごとの災害特性：全壊・半壊棟数＝千葉県北西部直下地震想定時

丁 目	揺れ		液状化	河川氾濫浸水	内水氾濫浸水	高潮浸水	土砂災害
	全壊	半壊	全半壊				
奏の杜 1 丁目	1 棟	2 棟	0 棟	なし	5 棟	なし	なし
奏の杜 2 丁目	1 棟	3 棟	0 棟	なし	0 棟	なし	なし
奏の杜 3 丁目	1 棟	3 棟	0 棟	なし	0 棟	なし	なし